

平成28年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>① 工業高校として育成すべき人物像を見据え、基礎学力の充実を図るとともに、企業・大学等のニーズにも対応できるような教育課程の編成に努める。</p> <p>② 言語活動の活性化、協働的な学びを展開し、確かな学力を育成する。</p> <p>③ 資格取得の機会拡大を図り、資格取得率を向上させる</p>	<p>① ものづくりを通して自ら考え、課題を解決する実践力を育成するための幅広い学びのシステムを構築する。</p> <p>② ICTの活用、アクティブラーニングの導入による組織的な授業改善を推進する。</p> <p>③ 資格取得に関する資料や取得状況等の情報提供を推進し、工業各科の補習指導を充実させる。</p>	<p>① 個に応じた指導、補習等により基礎学力の定着と向上を図る。また、外部教育力を活用することで企業や大学等のニーズにも対応可能な教育課程の編成について研究する。</p> <p>② 効果的な授業研修会を実施し、協働的な学びの指導方法、指導と評価の関連等について組織的に取り組む。</p> <p>③ 資格取得の機会拡大を図るとともに、各工業科が同質の補習指導体制を構築するために各科の連携を強化する。</p>	<p>① 「工業高校として育成すべき人物像」について教職員間で共通認識を持ち、基礎学力向上について組織的な取り組みが行えたか。</p> <p>② 研修会を何度開催し、どのような成果が上がったか。</p> <p>③ 資格取得における合格率、特別講習の受講者数、補習の参加人数。</p>					
2 生徒指導・支援	<p>① 基本的な生活習慣を定着させ、生徒が自ら社会のルールやマナーの意味を考える指導の充実を図る。</p> <p>② 生徒主体の生徒会活動・行事の運営を推進する。</p> <p>③ 潜在的ニーズにも対応可能な教育相談体制の確立を図る。</p>	<p>① 指導経過の可視化、指導プロセスの統一により「あたりまえのことをあたりまえに」できる行動力を育成する。</p> <p>② 生徒の主体的な活動を主眼としたサポート体制を充実させる。</p> <p>③ 各支援会議、SC、SSWとの連携による支援体制を発展させる。</p>	<p>① 生徒指導方針の定着と全職員の統一した指導を実践する。</p> <p>② 生徒会活動や行事について、生徒が自ら考え自ら行動する姿勢を育成する。</p> <p>③ 支援会議の定期的開催、外部機関との連携強化、職員・生徒・保護者への情報発信の推進により支援体制の充実を図る。</p>	<p>① 組織的、段階的な生徒指導ができたか。</p> <p>② 生徒会活動や行事を生徒による発案や役割分担で行うことができたか。</p> <p>③ ケース会議の開催回数、外部機関や保護者との連携促進はできたか。</p>					

3	進路指導・支援	<p>① 社会的・職業的自立のための力を育成する計画的なキャリア教育を実践する。</p> <p>② 全員参加によるインターンシップのさらなる充実を図るとともに、進路選択に幅広く活用できる進路データベースを構築する。</p>	<p>① 外部機関・学年等と進路支援グループの連携を通して、個々の生徒に対応したきめ細かな指導を行う。</p> <p>② インターンシップの指導を充実させ、他者と連携・協働しながら主体的に考え行動できる力を育成する。</p>	<p>① 基礎力診断テストを導入したキャリア教育の推進、進路行事の集中化と精選、進路資料のデータベース化に取り組む。</p> <p>② インターンシップを企業・生徒・学校それぞれの視点で見直し、より効果的な取組となるよう検証を行う。</p>	<p>① 基礎力診断テストの活用状況、進路行事の精選、進路資料のデータベース化はどの程度進んだか。</p> <p>② インターンシップの改善のための検証はどの程度進んだか。</p>					
4	地域等との協働	<p>保護者や地域との連携を推進することにより生徒のコミュニケーション能力の向上を図り、「生きる力」と豊かな社会性を育成する。</p>	<p>様々な機会、手法を活用し、生徒主体の地域連携を深化させると共に、専門高校の特色をアピールする広報活動を推進する。</p>	<p>・あいさつ運動や小中学校との連携、地域清掃、部活動による地域貢献などを通して、生徒に「地域社会の一員である」という意識を持たせる。</p> <p>・ホームページを充実させ、迅速な情報発信を行うことで広報活動を充実させる。</p>	<p>・地域連携活動の広がり、深化はどの程度実現できたか。</p> <p>・ホームページの改定の頻度・内容はどうか。</p>					
5	学校管理 学校運営	<p>学校評価システムにおけるPDCAサイクルの「見える化」を実践し、安全・安心な教育環境の整備と事故防止に努める。</p>	<p>教育施設・設備の点検、補修を計画的に行い、安全な教育環境整備に努める。</p>	<p>安全・清潔に過ごせる環境整備に取り組むとともに、防災教育に計画的に取り組む、地域と連携した防災体制を確立する。</p>	<p>生徒の安全のための点検・補修をどの程度行ったか。防災教育の取り組みはどのようなものであったか。</p>					